



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
 PHONE (06)344-1717

SEPTEMBER, 1987 V - 3



## 1987 ~ 1988 THEME

IP	互いに助けあおう	SUPPORT ONE ANOTHER
RD	青年と共に働くワイズ	HAND IN HAND WITH YOUTH
DG	新しい出発にむかって	TAKE PART IN A NEW START!
CP	味わおう、みんなで働く喜びを!	ENJOY WORKING TOGETHER!

EMPHASIS THIS MONTH : JAPAN.....EMCの月(今こそEMCの原点を確認し、5周年記念例会への100%出席に挑戦しよう!)

## Thought for the Month

Rejoice with those who rejoice, weep with those who weep. Live in harmony with one another; do not be haughty, but associate with the lowly; never be conceited. Repay no one evil for evil, but take thought for what is noble in the sight of all.  
 Romans 12:15-17

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。互に思うことをひとつにし、高ぶった思いをいがかず、かえって低い者たちと交わるがよい。自分が知者だと思いがあってはならない。だれに対しても悪をもって悪に報いず、すべての人に対して善を圖りなさい。  
 ローマ人への手紙12章15-17

## 今月の聖句によせて

使徒パウロは「兄弟たちよ」という親しみにみちた呼びかけのことばを以て、ローマ人への手紙12章以下に、自分の到達した自信と確信あふれる勧告を連続的に述べている。今月はそれらの言葉のごく一部を抜いてみたのです。語意は平明で、だれ

にでもわかるのですが、自分が知者だと思いがあってはならない。ということばは、私個人にとって実的確な教訓としておりますことを申添えさせていただきます。

鈴木 謙介

### Statistics (統計)

会 員 数	35名	ニコニコ献金	
第1例会会員出席者	26名	8月 27,760円	
第2例会会員出席者	10名		
メークアップ	1名	B F	現金 切手
出 席 率	77.14%	7-8月	2,000 3,900pt
		累計	5,140 4,800pt
ゲスト&ビジター	15名	EMCファンド8月累計	
メ ネ ッ ト	3名	310,165円	
コ メ ッ ト	1名		

### 9月例会当番 EMCの月

第6班：平田、森、中川、横山、中村、小林の皆さん

第1例会 チャーター5周年記念例会

9月16日(水) PM 6:30~8:30

場 所 YMCA国際社会奉仕センター(堂島)

第2例会 9月24日(木) PM 6:30~8:30

場 所 同上

○8月の切手提供者—掛江、黒田、上月、河野、小林、杉浦、杉本、多田、田中、福永、堀、村田、山田の皆さん



## チャーター5周年 記念例会プログラム

日時 1987年9月16日(水) PM 6:30~8:30

場所 YMCA国際社会奉仕センター(堂島)

- |               |               |     |
|---------------|---------------|-----|
|               | 司会            | 藤井君 |
| 1. 開会         | 会長            |     |
| 2. ワイズソング     | 一同            |     |
| 3. 聖句朗読、祈禱    | 黒田君           |     |
| 4. ゲスト紹介      | 会長            |     |
| 5. メインゲストスピーチ | 遊上君(大阪クラブ元会長) |     |
| 6. 乾杯         | 生地君(大阪クラブ現会長) |     |
| 7. 食事、メッセージ披露 |               |     |
| 8. 「すばらしき仲間」  |               |     |

### 歴代会長一言、Q&A

紹介：鈴木、山中、中村、山田、森、杉本の各君

- |                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 9. ニゴニコアワー(ENDOWMENT FUND) ドライバー |    |
| 10. お誕生日祝い                       |    |
| 11. 役員会、委員会報告、YMCAニュース           |    |
| 12. 閉会                           | 会長 |

例会当番(第6班：平田、森、中川、横山、中村、小林の皆さん)準備、後かたづけを宜しく。

※第2例会は9月24日(木)です。

プログラム委員会からご案内

★10月21日(水)10月第1例会は、YMCAサービスです。(英国の青少年グループ12名を招待します。)

★11月21日(土)“留学生エイド”(献品、労働奉仕をお願いします。)

### HAPPY BIRTHDAY

浦野 和子メネット	9. 3
藤井 保男君	9. 12
村田 ルリ子メネット	9. 15

### — 8月例会から— 盛大に恒例のビアパーティ

上月 英子

坂本中西部長を始め紀ノ川クラブから5名、大阪クラブから遊上ご夫妻、土佐堀クラブから今西ご夫妻、更にサウスクラブからは安藤、吹留の2氏と多数のゲストを迎え、センテニアル恒例のビアパーティは大いに盛り上がった。

ゲストスピーカー今西一之氏のケニアのワイズ訪問のお話は文化の違いが大きく非常に興味深かった。杉本会長による会員点呼もそれぞれの個性ある返事で親近感が深まり良いアイデアだった。お料理も底をついた頃、いよいよ我々が誇る正司姉の熱唱。楽しい楽しいアツという間の二時間だった。



▲ 楽しい雰囲気ビア・パーティ風景。



▲ 坂本中西部長からBFアワードを受け



▲ “愛の讃歌”を熱唱する  
元宝塚プリマドンナ 横 克己  
(正司 泰子姉)さん。

## 会長メッセージ

### 創立5周年とEMC

杉本 恭之助

大阪YMCA創立100周年を記念して、わが大阪センテニアルクラブはスポンサー大阪クラブのお骨折りにより、1982年7月20日国際協会にチャーターされ本年は丁度5周年を迎えるに至りました。

山中初代会長をはじめ歴代会長のよきリーダーシップのもとメンバー各位のご尽力のお陰で今日あると思ひ、神への深い感謝と共に感銘を覚える次第です。

この記念すべき年に当り、過去5年間歩んで来た道を顧み、そして現状の課題を認識しつつ、将来の発展についてみんなで考えてみたいと思います。

今月の5周年記念例会はその意味で、いかにも当クラブらしい内容の充実した味わい深い例会になることを期待しています。あたかも9月はEMC強化月間となっています。EMCについて総点検を実施する絶好の機会ではないでしょうか。

EMCとは、ワイズメンのある先人が、アインシュタインの相対性理論 $E=MC^2$ になぞらえて名付けられたとも言われています。まさにメンバーの質・量のレベルアップとクラブ運営の活性化こそクラブ発展のエネルギーとなり、遂にはその結果として将来新しいクラブを生むことになって行く訳です。

5周年記念例会を契機として、もう一度原点に戻り、まず、“出席第一”、何とか今月は出席率100%に挑戦しようではありませんか。

### 大阪センテニアル5周年に寄せて

日本区理事 鈴木 功男

今年谷川寛さんがジョージ・ウィリアムズの墓を訪ね、その碑文を日本区報で紹介してくれました。「YMCAは私の残す最後の遺産である。これは良い遺産である。これを世界の国々の多くの青年諸君に残す。これを継承し、また拡大されんことを。」

1928年奈良伝さんもここを訪れています。そして霊的励ましを受けて帰国した秋、「日本最初のワイズメンズクラブを作り、一生かけてその遺産たるYMCAを守りぬこうと決意した。」と小冊子「若き日のジョージ・ウィリアムズ」の後記に記しています。

それがはかならぬ大阪クラブでした。くしくも大阪Y創立百年の年に、当時平均年齢65才の大阪クラブが子クラブを誕生させたわけですから、旧約を地で行く思いを抱いた人も少なからずいました。我々の目にはセンテニアルはすべてが新しく映って登場しました。そしてその新しさが今に持続しているのです。

この新しさは何でしょうか。ワイズマンとしての本道を、光りの道をまっすぐに向っているにすぎない。これが奇を街った、すぐに古くなるような類いの新しさではないことを示しています。本質をまともに掘りおこす時に、新しくされることを教えてくれています。

奈良伝さんの決意が生きているクラブ、センテニアルよ、先輩が手渡しのようにして伝えてくれた「仕えあう喜び」を、この喜びを通していつまでも果てない幻を見つづけてほしい。



## センテニアル5周年のお祝い

中西部長 坂本 忠幸

大阪センテニアルクラブの5周年記念を心からお祝い申し上げます。5年前を思いおこせば新設された大阪国際奉仕センターをバックアップするクラブとして、例会はすべて英語で行なわれるというわきも出るほどinternationalな香りの高いクラブとして中西部に颯爽と登場したという感じを受けました。メンバーも元国際会長をはじめとするベテランワイズと素晴らしいタレントをもったフレッシュメンバーの多士済済の顔ぶれは実に頼もしく、事実、クラブとしてもメンバー個々の働きとしても大きな役割を果たして来られました。当初我々の理解を先んじるように発足した国際奉仕センターも、今日堂島の地に定着し、益々その活動が盛んになっていることはワイズメンにとって喜ばしい限りであり、その陰にセンテニアルの働きが大であることを今更のように痛感致します。どうか今後10周年に、否、“centennial”に向かつてまた新しく出発され、聖書にある“タラント”のたとえを大いに実践されて、クラブの益々の隆盛と、中西部、日本、世界におけるワイズダムのリーダーとしてのお働きを成し遂げられるようお祈り申し上げます。



国際色を醸し出した印度舞踊（シャクティ）

## センテニアル5周年を祝して

山中 秀男

大阪センテニアルワイズメンズクラブ5周年お目出度ございます。5年前の9月25日チャーターナイトの事が昨日の事のように思い出されます。

現在長崎Y's（九州部会）に属し、13人の小世帯に仲間入りさせていただき、楽しくやっています。

九州の端におりましてもセンテニアルの名はその名のユニーク性か、メンバーに有名人（鈴木、谷川、杉本、藤井 etc）が多いせいか良く話題になり、面目をほどこしています。

鈴木さんの発案でした、赤毛のアンで有名なカナダ シャロットのY'sはシャロットタウンYMCA100周年を記念してセンテニアルと名付けていると、数ある候補名の中から圧倒的多数で決まりました。大阪YMCA100周年の生証人として素晴らしい名前です。歴史をひも解きますと兄弟クラブの土佐堀Y'sも北米YMCA設立100周年に誕生していました。

もう一つ付け加えさせて下さい。今、長崎県を中心に九州一円で島原の乱、天草四郎時貞三百五十年祭 Three and half Century Anniversary が盛大に開催されており、最近の郷土土家の研究で天草四郎時貞の生誕地が、現在私の務めている岡政（長崎市浜の町4丁目）である事が判明したことです。Century, Centennial づくしで一人感じっています。

Centennial クラブの益々のご発展をお祈りいたします。

## センテニアル発足5周年に思う

黒田 巖之

中之島センタービルにおいて、多くのY'sdomにつながる友

人の参加を得、国際会長よりの認証状の伝達を受けた、我がクラブの華々しい出発の日から早くも5年経った。

この5年間の歩みを顧みると、歴代の会長方の大変なご努力にもかかわらず、お世辞にも「躍進」という言葉を使えない現状ではなからうか。その第一の原因は出席状況にあるように思う。（私も含めて一大反省点。）

私は故ケネディ米大統領の言葉を思い出し、それをもっと言うならば、私たちは、センテニアルクラブに何かを求めようとするのではなく、自分自身がクラブに何を貢献できるかを考えよう。

私は先づ出席し、今年の担当であるCS事業を一生懸命進めたい。皆さん、初心にかえって頑張りましょう。



純日本風に樽酒の鏡割も雰囲気づくりに一役。

## 5周年に際して

藤本 史郎

1982年9月、大阪クラブをスポンサーにして我々の大阪センテニアルクラブがチャーターされ、早や5周年を迎える。チャーターを迎える迄の設立準備に奔走した日々、そしてチャーターナイトの厳粛な式典、楽しかった祝宴等、つい昨日のように思われる。

大阪YMCA100周年の記念すべき年にセンテニアルを冠した当クラブとして、あらためてその歴史的意義をかみしめ、先輩諸氏の築いた100年の歴史を土壌にクラブメンバー全員が仲良く前進し、充実した活動を続けたいと考える。最近私仕事も忙しさに、例会へも欠席勝ちでクラブの皆様には大変ご迷惑をかけているが、クラブの健全な発展は先ず「出席することからの意味を再度よくかみしめたいと思う。

何とか一人でも多くの方が共通の目的で楽しく集い、楽しく語り合える、そういう例会の雰囲気を作ることが、今年度ドライバーとして私に課せられた役割と考える。

## ワイズ・あっち、こっち（9月）

- 8月22日（土） 中西部評議会、中西部再編成委員会  
於大阪YMCA国際社会奉仕センター 杉本君出席
- 8月22日（土）-23日（日） 中部々会  
於宇奈月温泉 鈴木君、同メネット出席
- 9月19日（土）13:00-17:30 北部々会  
於札幌、ホテル・サンルート
- 9月23日（祭）10:00-15:00 中西部会  
於和歌山ターミナル・ホテル
- 9月27日（日）14:30- 京都センチュリー・クラブ チャーターナイト 於京都パーク・ホテル
- 9月27日（日） 北東部、東部、南東部合同部会  
於にっぽん丸（東京晴海埠頭鐘泊）
- 10月16日（金）-17日（土）第12回アジア地域大会 於マニラ  
センチュリーパーク・シェラトンホテル



## 鈴木日本区理事通信NO.2より…

第1回日本区役員会確認事項(抜粋)

### A. 日本区関係

1. 7/1現在日本区現勢  
クラブ数 94、メンバー数 2,424名
2. 新クラブ情報  
草津クラブ(設立11/8、CN2/28)
3. 第43回日本区大会 1988年6月4.5日  
於東山荘、ホスト、三島、御殿場両クラブ

### B. 国際議会報告

1. BF最優秀リジョンとして、ディック・ニコルス・バナー再び日本区へ。
2. TOF「生まれぬ子供たちへの援助」更に2年間継続。
3. 1990年国際大会ミネアポリスに決定。
4. 国際会費値上げ決定、1988年7月1日よりSFr.22.5。
5. アジア地域各目標決定  
ASF 2万ドル、BF 2千円P、エンドウメントF.5千ドル、  
新クラブ20、会員増強500名、TOF2万2千ドル

## YMCAニュース

### ◎午餐会

「苦悩するポーランドから」

—経済大国、日本の国際化を考える—

日時 9月11日(金) 12:15~1:45PM  
会場 大阪YMCA会館 9階  
会費 2000円  
講師 橋本久太郎氏

ポーランド 国立ボズナニ大学教授  
日本語、宗教学など講じる

### ◎第8回 留学生の主張大会

日時 9月12日(土) 2:30~4:30PM  
会場 大阪YMCAホール  
主催 大阪YMCA、大阪青年会議所など

・10人の留学生が「日本での留学生活」をテーマにスピーチ

### ◎「関西NGO大学」開校

日時 9月22日(火)~23日(祭)  
会場 大阪YMCA六甲研修センター  
テーマ 第三世界の地域開発  
主催 関西国際協力協議会

・民間の国際協力団体のスタッフ、ボランティアや将来民間の国際協力団体等で働きたい人のためのスタッフリーダーシップトレーニング

### ※この秋、海外からのゲスト来阪!

ホームスティのお願い

詳しくは、YMCA国際社会奉仕センター 真嶋まで

## COMING & GOING

谷川 寛君 9月17日(木)和歌山クラブの例会で、「国際ワイズの動き」についてスピーカーとして話をします。

## IBC WORLD NETWORK

リストラクチャリング(再構築)を迫られる国際ワイズ(その1)

谷川 寛

国際議員としての四年間も終わりました。国際ワイズの立法機関である国際議会(ICM)も、時代とともに大きく変わりました。最近の国際ワイズの動きを取挙げてみました。以下シリーズで御報告致します。

ごぞんじのように、ワイズはアジア、インドなどで、なんとか伸びていますが、カナダ、豪州、南米カリブ海は、地盤沈下が激しく、これらの各エリア(地域)は、もはや、エリアとしての体裁を整えておらず、リジョン(区)に格下げが必要です。日本、デンマークなどの各リジョンは、これらのエリアより遙かに大きくなりました。

アメリカ・エリアも、その中にある14の区が各々かなり小さく弱体化しているため統廃合が必要になり、ドラスティックに4つの区にするための調整がなされています。

ワイズの発展拡張を目的としたエクステンションも、1986/87の最初の半年でみる限り、クラブ数にて1986年の国際議会で設定したゴールを大幅に下回っており、世界全体でわずか7クラブの増となっています。このうち、国際会費にプラスとなるのはわずか4クラブだけです(インドなどの国は、国外に外貨を持ち出せず、国際予算に貢献していない)。

### Y'sのアクティビティについて

—留学生エイドプロジェクト— 田中 穰二

ワイズメンズクラブの目的の第1は“個人的または協同的にYMCA活動を支援する”ことにありますが、当センテナルワイズメンズクラブはその目的に“大阪YMCA 国際社会奉仕センターの活動に協力し、国際的社会奉仕に努める”が加えられていることはご承知の通りです。この目的達成のため当クラブは創立以来、奉仕センターの諸活動や東南アジアをはじめ諸外国から日本語学習のために日本語コースにきている留学生に対する奉仕活動を行って来ましたが、最近の円高の影響に苦しみ私費留学生の実情にふれ、そのための援助を“留学生エイド”プロジェクトとして積極的に取り組むと共にASF委員会にも援助を申請し10万円が決定しました。この留学生に対する活動は今後共強化する必要があり、そのためには当クラブ会員全員の参加が必要であり、単に金銭援助にとどまらず、里親プロジェクトやその他の工夫によって、今後増大する来日留学生受入れのモデルを作ることが出来ればと念願します。どうぞ皆さんの強い関心と参加を期待します。

### メンバー消息

村田貞夫君、転職・転居のお知らせ

8月20日住友生命を退社、翌日付で関西住宅産業(株)に転職、同時に転居されました。

自宅住所 〒662 西宮市一ヶ谷町7-57-302

電話 0798-72-9022 勤務先電話 06-341-6071



## IBCのこととその活動

IBC委員長 松本 常晃

それまでは、WOL (World Outlook=世界展望) の名称で事業をなされていたものを、1979年度からWOLの名前を廃止し、IBCとYEEPの二つの独立した事業として進めることになった。

日本に於けるブライザー締結の最初は大坂クラブとバサデナ(USA) が結んだ1948年2月のこととされている。以来、数々のBC関係が生まれ、かつてはUSA、カナダ、韓国、台湾など一部の国々に片寄っていたのが最近ではオーストラリア、スカンジナビア、インドと広くBCから拡大されている。

吾がセンテニアルは目下の所、下記のBCを持ち、特にヌアヌとボヒニアとは吾がクラブを軸に地域的にも便利な事もあり、トライアングルBCの関係を持つべく努力していきたいと思う。(ヌアヌーハワイ、ボヒニアー香港、エルナクラムーインド)

大切な事は単にBCを締結してその後を無為に過ごす事のない様に常時、定期的なコンタクトを持ち、情報を交換して行きたいと考える。現在は毎月当クラブのブリテンに英字新聞(JAPAN TIMES or DAILY MAINICHI)を添えて三つのBCに送っているが相手クラブからは定期的なメールがないのが現状である。いずれ近い内に又、手紙などで催促していきたいと思う。

一方、当クラブとして相手クラブの訪問もいいがメンバーが個人的にその国ないしは近くを訪問する様なことがあれば是非、立ち寄り、情報を得て欲しいものである。

尚、当クラブの創立5周年記念事業のひとつとしてヌアヌクラブとベルの交換を予定している。近い内に当クラブも例の木槌の音から爽やかなベルの音に変わる事を期待している。

## YEEPのこと

YEEP委員長 堀 利満

1974年、ワイズダムの新しい事業として承認された青少年教育交換プログラム(YEEP)は、日本区にあってはWOL(世界展望=World Outlook)の事業の一部門として位置づけられていた。1979年度になってWOLはYEEPとIBCの二つの事業部門として分離独立された。

YEEPの活動は初代国際事業主任であったスエーデンのワルストローム氏がスカンジナビアと北米との間で青少年の教育交換を早くから行っていたがこれを国際ワイズダムの中のひとつのサービスプログラムとして育てていったものである。学生を送り出すクラブをスポンサークラブ、受け入れ側のクラブをホストクラブと呼び、両クラブの責任でプログラムが進められていく。その指導、斡旋、調整などは、YEEP国際事業、各地域事業、区事業各主任を通じて行われる。

現在のセンテニアルの活動状況からみて、近々の内にYEEPの活動を開始していくというよりは、むしろこれまでに締結して来た三つのBCとの関係を密にし、歴史を戻すわけではないが、少なくとも現在のセンテニアルにあっては、YEEPとIBCを互いに関連した事業として扱っていく必要があるのではないかと考える。

## マンガチックな人生を夢みて

正司 泰子

MET委員長に選ばれて、はて何を始めようかと思案しました。最近の私は、労働意欲は皆無に近いし、かと言って知識レベルは低いし....困ったな。

それじゃ、音楽の分野での活動にとどまらず、生来の遊び好きを生かして、黄昏行く人生をマンガチックにチョッピリ贅沢にエンジョイしてみようーなんて夢みてしまいます。

例えば、素晴らしいオペラを聞き、歌舞伎を觀賞し、ゴルフを楽しみ、そして良い雰囲気の中で一寸気取って食事をしたり....そのように過ごす時、本物を見たり、知ったり、味わうことの大切さを学べたら、素敵だと思います。

如何でしょう。

編集後記 ワイズに関するちょっとした話題、また旅先での印象、思い出などお寄せ下さい。写真は、印刷の都合上、被写体が大きく、明るく撮れている方が見やすいです。(川越)



The President,  
Osaka Centennial Club,  
Osaka,  
JAPAN.

My dear President,

I am very happy to learn that you will be celebrating the 5th anniversary of your club shortly. It is indeed a great pleasure and honour for me to send you our greetings and best wishes on this occasion.

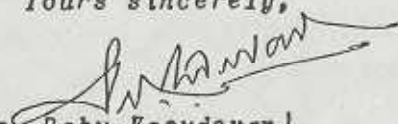
Eventhough we are miles apart, we have a common bond, a common mission and a common message to the world because we are both links in a great chain, namely the Y's Mens International, which stretches across a number of nations spread all over the globe.

India has always been a friend of Japan, not only in commercial ventures but also in cultural activities. A couple of years ago I had the good fortune of visiting Japan and I was very much touched by the friendliness and politeness of Japanese people; very much impressed by the gigantic strides of progress of Modern Japan, and very much wanted to go back and see more Japanese life. Recently I was given the opportunity to play host to one of your distinguished members, Mr. Kajima, when he came to Cochin to attend the Area Convention. I consider it my previlage to have been given this opportunity because I got many occasions to know him very closely. I am only disappointed in that his sojourn in India was too short for him to have known our country and countrymen well. I hope we will have more opportunities for exchange visits in future.

I wish to convey greetings and best wishes to all your members on this auspicious occasion of the 5th anniversary of your club.

May God bless you all.

Yours sincerely,

  
(Dr. Babu Vasudevan)  
President.